

令和6年度国際ネットワーク部会 in 丹波篠山市 開催報告

国際ネットワーク部会は、文化芸術創造都市政策の推進にあたり、特に東アジア文化都市やユネスコ創造都市ネットワークといった国際的なネットワークの活用又は活用を目指すことにより、国際的にも先進的な文化芸術創造都市政策の研究や、発信力強化を図ろうとする都市における相互の連携や交流、情報交換を行うことで、国際都市を目指した創造都市政策のさらなる実現を目的としている。

【全体概要】

- 令和6年度の部会は、相互の連携や交流、発信力を強化することで、文化芸術創造都市政策の一層の推進を図るため、今年度のユネスコ創造都市(UCCN)国内ネットワーク会議(以下、UCCN国内会議)の開催地である兵庫県丹波篠山市で、UCCN国内会議と合同で同日に開催した。
- 1日目の担当者ミーティングでは、UCCN国内会議との合同開催であることを踏まえ、部会員からの「都市間・分野間連携」に関する活動の報告や、文部科学省、次世代ユネスコ国内委員会からも情報提供をいただき、連携の成果をどのように示すべきかなどについて意見交換を行った。
- また、2日目は丹波篠山市(UCCNクラフト&フォークアート分野加盟都市)、3日目は神戸市(UCCNデザイン分野加盟都市)においてエクスカージョンも実施した。

【担当者ミーティング】

開催日時	令和7(2025)年1月16日(木)15:30~17:30
開催方法	丹波篠山市(丹波篠山市民センター)及びオンライン(ハイブリッド開催)
主催	京都市
共催	創造都市ネットワーク日本(CCNJ)、丹波篠山市、神戸市、文化庁
参加人数	61名(現地51名、オンライン10名)※事務局含む
参加自治体・団体数	自治体:21、団体:3 ※事務局除く
プログラム	<ul style="list-style-type: none">□開会挨拶<ul style="list-style-type: none">・覚前元英氏(京都市 文化市民局 文化芸術都市推進室 文化芸術企画課 政策連携推進担当課長)・児玉大輔氏(文化庁 参事官(生活文化創造担当))□丹波篠山市の取組紹介<ul style="list-style-type: none">・酒井隆明氏(丹波篠山市長)□「都市間連携・分野間連携」に関する参加団体の活動紹介<ul style="list-style-type: none">・UCCN国内会議加盟団体以外の9自治体から活動紹介□文部科学省、次世代ユネスコ国内委員会からの情報提供<ul style="list-style-type: none">・富樫珠里氏(文部科学省 国際統括官付 企画係係員)・長澤パティ明寿氏(次世代ユネスコ国内委員会)□都市間・分野間連携の意義やニーズ、課題についての意見交換 《ファシリテーター》

	<ul style="list-style-type: none"> ・小山龍介氏（株式会社ブルームコンセプト代表取締役／日本遺産コーチ） □総括 ・佐々木雅幸氏（大阪市立大学名誉教授／CCNJ 顧問）
--	--

【担当者ミーティング概要】

1. 丹波篠山市の取組紹介

／酒井隆明氏（丹波篠山市長）

- ・丹波篠山市では、地域づくりのビジョン『丹波の森宣言』が引き継がれており、人と自然と文化が共生する地域づくりに力を入れてきた。都市部から 1 時間の距離にありながら、城下町として、城や古い街並み、周辺の農地を守ってきた。
- ・ユネスコ創造都市の加盟認定後の取組として、古い街並みの中で現代アートの展示を行う「まちなみアートフェスティバル」や、丹波焼の陶器まつりを行っており、食と器の出会い事業補助金制度も設け、丹波焼を中心とした器によるもてなしの提供も推進している。国際交流も行い、外から見るまちのイメージは変わりつつある。古民家を再生したホテルもでき、観光客や移住者も増えている。
- ・本年 4 月から丹波篠山国際博を開催する。オープニングイベントとして、能と光が融合するプロジェクションマッピングが予定されている。

2. 「都市間連携・分野間連携」に関する参加団体の活動紹介

- ・UCCN 国内会議で活動紹介を行った加盟団体以外の 9 自治体から、都市間連携や分野間連携に関する活動などの紹介を行った。

3. 文部科学省、次世代ユネスコ国内委員会からの情報提供

(1) ユネスコ創造都市ネットワークについて

／富樫珠里氏（文部科学省 国際統括官付 企画係 係員）

- ・ユネスコ創造都市ネットワークには、現在、世界で 350 都市、日本からは 11 都市が加盟。2025 年の新規加盟申請からは、新たに建築分野が追加され、計 8 分野となった。
- ・加盟のメリットは、さまざまな地域への発信や他地域との連携が可能になることや、市民の意識向上に寄与することである。
- ・ユネスコ創造都市ネットワークの加盟申請は原則 2 年に 1 度であり、1 カ国から異なる分野で 2 件までの申請が可能である。日本ユネスコ国内委員会での選考を経て、自治体から直接ユネスコへ提出するもの。2025 年の新規加盟申請は、現在、国内選考中であり、3 月にユネスコへ提出した後、5 月中旬頃に加盟が発表される予定。

(2) 次世代ユネスコ国内委員会について

／長澤パティ明寿氏（次世代ユネスコ国内委員会 文化ワーキンググループ リーダー）

- ・次世代ユネスコ国内委員会は、2021 年に活動を開始し、2023 年に日本ユネスコ国内委員会運営小委員会の下に正式に設置され、18 歳から 30 歳からなる 20 名ほどで活動している。
- ・文化、教育、科学というユネスコ活動の 3 本柱がある中で、それぞれのワーキンググループに分かれた活動も行っている。2022 年 3 月に次世代ユネスコ国内委員会が出した

『ユネスコ活動の活性化に向けて』という提言では、文化ワーキンググループとして、創造都市事業と他のユネスコ事業(特にユネスコスクール)との連携促進、ユース世代を対象としたユネスコ創造都市ユースサミット(仮称)の開催をアクションプランに掲げた。

- ・他都市との関わりの中で、自分たちの街の魅力を再定義・再発見できることが多く、重層的かつ持続的な都市ネットワークの存在は貴重である。そのような観点で、若い世代の創造都市ネットワーク事業への参画を積極的に進めていきたい。都市間の連携はもちろん、ユースの活動、世代間連携もぜひ扱ってほしい。

4. 都市間・分野間連携の意義やニーズ、課題についての意見交換

ファシリテーター

／小山龍介氏(株式会社ブルームコンセプト代表取締役／日本遺産コーチ)

(1) 都市間連携の成果とその示し方について

- ・各自自治体から、成果の見える化・具現化・数値化などの課題について意見が交わされ、ネットワークの価値に気付くまでに時間がかかることや、熱い思いを持った市民間の交流の重要性などが語られた。
- ・また、クリエイティブ産業に関わる事業者の交流や、シティープロモーションの一環としてのアピールなどは、経済発展にも結び付けやすいとの意見もあった。

(2) 分野間連携について

- ・文化は、観光や産業等、さまざまな分野と関りがあり、文化の中でも異分野と言えるものもあるため、それぞれの魅力を組み合わせることでまちの文化力を高められるとの意見があった。
- ・行政の縦割り組織の弊害や、経済界の参画による事業自走化の可能性などにも言及した。

5. 総括

／佐々木雅幸氏(大阪市立大学名誉教授／CCNJ 顧問)

- ・創造都市を学問的に定義しようとしたきっかけの一つは、欧州文化首都である。ユネスコ創造都市ネットワークも東アジア文化都市も、この事業から発想してできたものだ。中国・韓国では東アジア文化都市の開催都市は、すべてユネスコ創造都市ネットワークに加盟している。中韓に後れを取らないよう、日本の東アジア文化都市の開催都市もユネスコ創造都市ネットワークに加盟してほしいと願っている。
- ・国家間の歴史認識や領土問題によるあつれきを乗り越えるのは、市民による文化の力だ。日中韓の3国とも政治的、あるいは政権のあつれきがあり、歴史認識が異なっていたとしても、3国文化大臣会合は毎年行われている。東アジア文化都市事業の最も大きな成果は、日中韓の間で平和の維持に貢献していることだ。
- ・今回、初めて次世代ユネスコ国内委員会からの参加があり、活動が紹介された。若い世代の人たちが担い手として、今回のような事業へ積極的に関わってくれることに、アジアの未来がかかっている。
- ・神戸市や横浜市が、阪神・淡路大震災やウォーターフロントのバブル崩壊からの復興を

文化力で目指したように、危機に直面したときに文化の力で都市を再生するという発想は、海外でも同様だ。その成果には自信を持ってほしい。

- ・創造都市ネットワークという会議体は、大都市から小都市まで、志を同じくしている都市と人々が集まる会議であり、皆で協力して前進していきたい。

【エクスカーション】

1. 丹波篠山市内の視察

開催日時：令和7（2025）年1月17日（金）9：00～16：00

視察内容：兵庫陶芸美術館：丹波焼の文化観光事業に関する説明、特別展鑑賞
立杭集落周辺：グループに分かれ窯元を訪問、最古の登窯見学
丹波伝統工芸公園「立杭 陶の郷」：昼食、見学
河原町妻入商家群周辺：老舗豆類卸店や王地山陶器所を訪問
西町通り周辺：古民家を再生した分散型ホテルや雑貨・カフェを訪問

2. デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）の視察

開催日時：令和7（2025）年1月18日（土）9：00～12：00

視察内容：デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）
デザイン都市・神戸の説明
デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）の事業説明
館内の見学

